

平成20年第5回土岐市議会定例会報告

今議会には、平成20年度補正予算関係4件、条例関係1件、人事案件3件、その他案件16件、決算関係11件の35件が市長から上程されました。

「土岐市人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」は、肥田町の神戸信之さん、鶴里町の林泰代さん、曾木町の田中恭子さんを推薦することに同意しました。「土岐市功労章の授与について」では、昨年瑞宝小綬章を受章されました泉町の木股勝介さんの土岐市功労章授与を可決し、12月8日議場において、授与式が行われました。

予算関係、条例関係、その他の案件15件は、各常任委員会に付託され、12月10、11日及び19日に審査し、12月19日の本会議において、すべて原案のとおり可決しました。また、初日に9月議会で決算特別委員会に付託された平成19年度土岐市病院・水道事業会計決算の認定について、2議案を認定しました。

議員提出議案として、平成19年度土岐市一般会計・特別会計決算の認定（11件）を行うため、決算特別委員会の設置を可決し、閉会中に審査を付託されました。1月14日から16日まで同委員会を開催し、審査を行い、3月議会で委員長報告の後、委員長報告に対する質疑、討論、採決を行います。

また、「自治体病院の存続可能な施策及び医療に関する制度の改善を求める意見書」を、全会一致で可決し、関係行政庁へ提出いたしました。

議 案 名	委員会結果	採決状況	結 果
平成20年度土岐市一般会計補正予算（第3号）	可 決	全会一致	可 決
平成20年度土岐市一般会計補正予算（第4号）	可 決	全会一致	可 決
平成20年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決	全会一致	可 決
平成20年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	全会一致	可 決
土岐市国民健康保険条例の一部改正	可 決	賛成多数	可 決 賛成16/反対1
土岐市立児童館の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市総合福祉センター・ウエルフェア土岐の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市老人福祉センターの指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市恵風荘の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市福祉施設ひだまりの指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市保健福祉センター・すこやか館の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市美濃焼伝統産業会館の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市三国山キャンプ場の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市産業文化振興センター・セラトピア土岐の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市駄知公園運動広場の指定管理者の指定	可 決	全会一致	可 決
土岐市営グラウンドの指定管理者の指定（3件）	可 決	全会一致	可 決
損害賠償の額を定めること（2件）	可 決	全会一致	可 決
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること（3件）	—	全会一致	可 決
土岐市功労章の授与	—	全会一致	可 決
平成19年度土岐市病院事業会計決算の認定	可 決	全会一致	可 決
平成19年度土岐市水道事業会計決算の認定	可 決	全会一致	可 決

今議会には、指定管理者の指定についての議案が13件ありました。

指定管理者制度とは？

以前は、市の直営（例えば、図書館など）か、公共的団体等の委託（例えば、総合公園など）で公の施設管理を行っていました。地方自治法の改正により、民間事業者や民間団体が公の施設管理を行うことが可能になりました。これが指定管理者制度です。

今までの制度との大きな違いは、入場料や使用料などの収益は、指定管理者の収入にすることができます。収入を増やすために、民間事業者のノウハウを活用し、経費の縮減などを通して施設の利用促進が図られます。

常任委員会の審査報告

第二常任委員会

今回、第二常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係一件、指定管理者の指定について七件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆指定管理者の指定について

質疑 原則公募であるにも関わらず、六議案の施設では、公募を行わず、なぜ継続としたのか。

答弁 どの施設も地域に根ざした施設で、利便性を向上させるなど、積極的な管理運営がされていると評価している。経費削減についてもある程度効果が出ており、継続することが適切であると考えた。

質疑 指定期間が、施設により、三年、五年と違いがある。理由は。

答弁 美濃焼伝統産業会館については、会館だけではなく、周辺にある志野の里公園や高根山の古窯遺跡など一体的な観光資源として管理運営できるよう範囲を広げることが検討しているた

め、三年とした。三国山キャンプ場については、施設の老朽化が著しく、大規模改修の必要性が迫っている。利用者数も平成十年度と比較して約半分に減ってきている状況で、できる限り短期で見直しをする必要があるため、三年とした。セラトピア土岐については、公募により土岐市陶磁器卸商業協同組合となったが、指定管理者制度を初めて導入したことによる、管理運営状況の検証や問題点などの洗い出しを行うため、三年とした。

質疑 制度導入前の委託料と導入後の管理料との比較はどうなっているのか。

答弁 美濃焼伝統産業会館については、有料入場者数は減少しているが、コスト等の削減に努め管理料は減少している。総入場者数は、無料入場者数を含めると増加している。鶴里及び濃南グラウンドについては、利用者数が減少し、一部補填している。駄知公園運動広場、肥田グラウンド及び曾木グラウンドについては、補填はない。

意見 指定管理者制度の趣旨に沿うよう、評価や指導を行い、利

便性の向上や経費削減がより図られるよう、努めて欲しい。

☆緊急経済対策資金信用保証料助成金について

質疑 十月末からの融資が対象となるが、どれくらいを見込んでいるのか。

答弁 融資件数が十一月末までの約一ヶ月間で十一件あり、経済状況を勘案し四ヶ月で百件を見込んでいます。

質疑 マイクロ波ガス複合炉の設置費用はいくらか。

答弁 搬入、据付で三十万円、ガス接続工事費で三十万円、電気工事費で三十万円の合計九十万円、三分の二を助成する。



（新しく指定管理者制度が導入されるセラトピア土岐）

第一常任委員会

第一常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係四件、条例関係一件、指定管理者の指定について六件、損害賠償の額を定めることについて二件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成二十年度土岐市一般会計補正予算(第三号)

質疑 歳入で、普通交付金調整率が変わったとは、具体的にどう変更になったのか。

答弁 調整率とは、国の普通交付税財源が不足する場合、財源不足額を基準財政需要額で割って計算をし、調整するものである。今回、調整率が小さくなり、その分増額されるものである。

質疑 共同生活介護重度障害者支援体制強化加算費は、どういう方が対象となるのか。

答弁 共同生活を送られている常に介護の必要な重度の障がいのある方である。四名の対象の方は、はなの木苑・ホーム織部の三名、恵那たんぽぽ作業所・武並ホームの一名である。

☆平成二十年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

質疑 システム改修の主な内容は。

答弁 今までは、国民健康保険と介護保険それぞれに自己負担限度額があり、超えた額を返還していたが、今年度から両費用を合算して限度額を超えた場合それぞれ自己負担額の割合で返還する制度が改正された。来年度から施行されるため、新制度に伴うシステム改修である。

☆平成二十年度土岐市介護保険特別会計補正予算(第二号)

質疑 システム改修の主な内容は。

答弁 ①二十一年度に報酬改定への改修 ②現在、第三期介護保険計画を実施中であるが、二十一年当初は、第三期と第四期を並行処理しなければならなかったための改修 ③保険料の徴収には、特別徴収と普通徴収があり、徴収方法を変更されるときに重複納付を避けるための改修 ④高額医療・高額介護合算制度創設に対する改修

☆平成二十年度土岐市一般会計補正予算(第四号)

質疑 歳入で、経済緊急対策について国の補助はあるのか。

答弁 市単独事業であり、国庫補助はない。

☆国民健康保険条例の一部改正

質疑 この制度を加入している医療機関数は。

答弁 県下、六十七機関中六十三機関が加入しており、東濃西部三市の六機関はすべて加入している。

討論 この制度ではまだまだ十分であり、反対する。

☆指定管理者の指定について

質疑 この六議案の指定管理者は全て社会福祉法人土岐市社会福祉協議会となっている。収支状況は。

答弁 ウェルフェア土岐は、収入合計約八千二百万円、事業費が約一億三千百万円であるため、約四千九百万円が指定管理料となる。福祉施設ひだまりは、収入合計約七千八百万円、事業費が約八千八百万円であるため、

約一千万円が指定管理料となる。すこやか館老人デイサービスセンターと恵風荘老人デイサービスセンターは、収入合計、事業費とも約四千七百万円である。すこやか館で千百万円余、恵風荘で千三百万円余収益があるが、これを社会福祉協議会運営費に充当している。収益が上がることで、市からの補助金が少なくなっている。

☆損害賠償の額を定めることについて

質疑 医療事故に対する損害賠償額四百万円の根拠は。

答弁 総合病院が加入している保険会社が算定した額を基準に、弁護士と相談して四百万円と決め、相手方の了解を得た金額である。



(恵風荘)